

茨城インプラント研究会 会報

茨城インプラント研究会は、インプラント治療の正しい理解と技術の向上を目指し、導入をお考えの歯科医院から、多数の症例をこなしている医療関係者までがともに研鑽できる場を提供することを目的として発足いたしました。

発行：広報委員会（征矢、立原、大平）

平成20年度 茨城・ブラジルふるさとリーダー交流事業報告

茨城県出身移住者及びその子弟との懇親・意見交換をおこない、より一層の交流推進を図るべく茨城県が実施している「茨城・ブラジルふるさとリーダー交流事業」の一環協力事業として、茨城県歯科医師会からの依頼により行った活動です。今回は、ブラジルからいらした女性歯科医 鈴木ウララ様が来県されましたので、下記の特別研修を行いました。

（報告者：征矢 亘）

実施日	平成21年2月24日（火）
内容	<p>県内の歯科医院見学</p> <p>インプラント治療の実際 インプラント OP 生体モニター見学</p> <p>インプラント機器見学</p> <p>インプラントの歯科技工見学</p> <p>茨城インプラント研究会 平成20年度 第1回 イブニングセミナー</p> <p>【午前】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科医院見学 <ul style="list-style-type: none"> モダンデンタル中庭歯科医院（水戸市、院長：中庭 敏博 先生） 瓜連中央歯科クリニック（那珂市、院長：寺門 正徳 先生） 征矢歯科医院（日立市、院長：征矢 亘 先生） ・ 歯科技工見学 <ul style="list-style-type: none"> KN デンタルラボラトリー（日立市、代表：中島 清史 様） <p>【午後8時～】</p> <p>茨城インプラント研究会 イブニングセミナー （於 株式会社岩瀬歯科商会 水戸支店 3階セミナー室）</p> <p>征矢 亘 副会長 「HA コーティングインプラントの特徴と応用」</p> <p>寺門 正徳 副会長 「インプラント/アバットメント ジョイント機構による適応症例を考える」 （インプラントデンチャーの理想はインターナルか？エクスターナルか？）</p> <p>㈱クロスウェル 生体情報モニタ「Circlemates」・ソフト「治療名人2008」</p>
参加人数	25名



平成 21 年度 第 1 回 症例検討会報告

平成 21 年 6 月 25 日（木）に㈱岩瀬歯科商会水戸支店セミナー室にて、平成 21 年度 茨城インプラント研究会 第 1 回症例検討会が行われました。当日は木曜日の午後 8 時開始にも関わらず、37 名の先生方に県内各地からお集まりいただき、先生方のインプラント治療に対する関心や情熱が垣間見えた瞬間でした。

2 時間という限られた時間の中で、活発な意見交換がなされ、ディスカッションも活気に満ち溢れるものであり、予定していた時間もオーバーするほどでした。今後も 21 年度中にあと 2 回の症例検討会を予定しております。数多くの先生方のご参加をお待ちしております。

（報告者：畑中 秀隆）

実施日	平成 21 年 6 月 25 日（木）午後 8 時から （於 株式会社岩瀬歯科商会 水戸支店 3 階セミナー室）
内容	「症例発表の準備として必要な資料の収集とプレゼン基準について」 瓜連中央歯科クリニック（那珂市） 寺門 正徳 先生 「単独歯欠損部におけるインプラント治療の有用性と歯列・咬合を考慮した上部構造の再製作について」 瓜連中央歯科クリニック（那珂市） 小林 克紀 先生 「インプラントを即時埋入で行う臨床的意義とその評価・考察について」 アン歯科クリニック（日立市） 畑中 秀隆 先生
参加人数	37 名



創立 1 周年記念学術講演会報告

茨城インプラント研究会の創立 1 周年記念学術講演会が、7 月 26 日（日）に茨城県歯科医師会館（水戸市）にて開催されました。創立 1 周年を迎え、茨城県歯科医師会副会長 森永 和男 先生、茨城インプラント研究会会長 中庭 敏博 先生より、御挨拶を頂いた後、記念学術講演会が行われました。

講師には、インプラント審美修復で著名な、小濱 忠一 先生をお迎えし、演題「失敗症例に学ぶインプラント修復とそのリカバリー」、「最新のマテリアルセレクトとその臨床応用」をお話し頂きました。内容は、術前の診査・診断の重要性から最新のマテリアルの使い方まで幅広く濃厚に講演して頂きました。インプラント修復による治療後に問題が生じた症例から、いったい何が起きたのか？ そこから、考察され、様々なリスクファクターが浮かびあがってくる。そして、それを裏付ける様々な文献の数々。豊富な写真、CT 画像、美しい症例写真。小濱先生のお話にくっと惹きつけられ、13 時から 17 時 30 分と比較的長い講演会でしたが、時間はあっという間に過ぎてしまいました。

プロセラのアルミナとジルコニアの臨床での選び方。同じ症例で、2 人の技工士さんが製作した形態の違うアパットメントを比較し、最終補綴、その先にどのような形態の違いができるか、アパットメント形態の重要性など、大変勉強になりました。いろいろ工夫され様々な視点からの講話に、今日は本当に来て良かったと感じたのは、私だけではないと思います。

当日は、ほぼ満員状態で、Dr だけではなく、衛生士さん、技工士さん、衛生士学校・技工士学校の学生さんと、幅広く多くの方々が参加され、大変盛況でした。

最後に、お忙しい中講演をして下さった小濱先生、本当にありがとうございました。

(報告者：大平 章裕)

実施日	平成 21 年 7 月 26 日 (日) 午後 1 時 ~ 5 時 30 分 (於 茨城県歯科医師会館)
講師	小濱 忠一 先生 1981 年 日本大学松戸歯学部卒業 1984 年 原宿デンタルオフィス勤務 1986 年 小濱歯科医院開業 2006 年 日本大学客員臨床教授就任 日本補綴歯科学会・日本歯周病学会 会員 / 東京・北海道・東北 SJCD 顧問 / SJCD インターナショナル理事 / 東京 SJCD インプラントコ・スインストラクター / ノーベル・パイオケア・ジャパン公認メンター / AAP 会員
演題	「失敗症例に学ぶインプラント修復とそのリカバリー」 「最新のマテリアルセレクションとその臨床応用」
参加人数	116 名 (ブース出展 8 社)

歯根再現の治療法
第一人者招き講演
茨城インプラント研
歯根を再現する歯科
治療法の普及を目指す
茨城インプラント研究
会(中庭敏博会長)は
創立1周年を記念し7
月26日、水戸市見和2
丁目の県歯科医師会館
で講演会を開いた。写
真。

講師はインプラント
治療第一人者の小濱忠
一氏。小濱氏は、奥歯
が多い傾向にあるイン
プラント治療法を前歯
にも広げ、機能回復と
した。

ともに見た目
の美しさを施
す治療に言
及。さらに治
療前のきめ細
やかな診断の
必要性などを
語った。

研究会は、
歯科医師が同
治療法を学べ
る場や、未導入の医師
の意見交換の場提供な
る。



創立 1 周年記念学術講演会の様子が茨城新聞に掲載されました。



茨城インプラント研究会事務局
〒305-0033 つくば市東新井 2-1 KMS.S- 3F (株)WACCORD 内
TEL.029-855-8296 / FAX.029-855-8164 / URL.http://isi-implant.org/